

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 名 授 科 目 名	文化人類学入門	学 期	前期	塩谷もも (島根県立大学 准教授)
		単 位 数	1	
		時 間 数	16	
目 的 (ねらい)	文化人類学の基礎を学び、異文化のとらえ方について知識を深めることを目的とする。世界各地の事例を比較し、共通性と異質性を意識しながら、文化の特徴を理解する。広い意味での異文化に対する関心を深め、異なる文化を持つ人と共に生きる姿勢につなげることを目指す。			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化を多角的にとらえる視点が身につく。 ・各テーマについて、異文化と比較しながら日本の身近な文化を考えられるようになる。 ・広い意味で異なる文化を持つ人と接する・共に生きる姿勢を身につける。 			
授 業 計 画	回数	単元項目	内 容	授 業 形 態
	1	文化人類学と文化	文化とはなにか考える	講義
	2	異文化との出会い	文化人類学の歴史を学ぶ	講義
	3	異文化のとらえかた	文化相対主義の背景	講義
	4	フィールドワークとは	文化人類学の調査法を知る	講義
	5	家族と親族の多様性	家族や親族の多様な形を学ぶ	講義
	6	家と社会構造	住居と社会構造のつながりを知る	講義
	7	結婚と変化する家族	結婚と家族の変化を学ぶ	講義
	8	多様性を考える	まとめ	講義
教 科 書	なし (プリント資料を配布)			
参 考 文 献	奥野克巳・花淵馨也 共編 『文化人類学のレッスン—フィールドからの出発』 増補版 学陽書房			
評 価 方 法	定期試験 60% 授業への参加度・ワークシート 40% 評価は上記の総合評価とする			
関 連 科 目				
自 己 学 習 に 関 する 指 針	(1) 関心を持ったテーマについて、授業で紹介する参考文献等を参考にしながら、文献を読んで、知識を深める。 (2) 各テーマについて、新聞記事やインターネットなどを通じて情報収集し、それらをもとに自分で分析しながら考える。			
そ の 他 の 通 知 事 項	授業では毎回シートの提出があるので、授業の内容をふまえて自分がどう考えるか、意識をしながら受講してください。			